

編輯部報情閣内

報週真寫

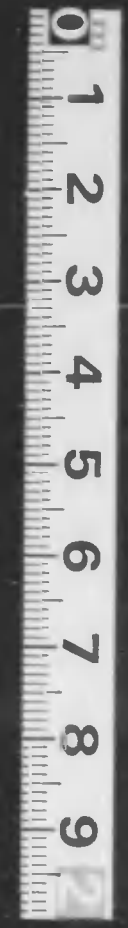
ンセ十 號日六月

昭和十三年三月十七日 第三編 鐵道挺進隊 昭和十三年四月六日發行 (第一編 日本國日發行) 第八號



江南に
進む
鐵道挺進隊
馬は兵器だ!

おともだち
羽田兒童馬場





英魂眠る満洲へ

國民精神總動員の秋
尊き父祖濺血の跡を弔へ

内地・朝鮮から
往復・回遊汽車賃
早 割
國 割
學生團體
二〇人以上
五割
引
以上引引

詳細は
滿鐵滿洲案内所へ
東京丸ビル 同 赤坂葵町
大阪駅前 同 同 同 同
下關駅前

新京忠霊塔

局總道鐵鐵滿

準備は進む

東京オリンピックツク大會

主競技場候補地としてあげられる駒澤のゴルフ・リンクス



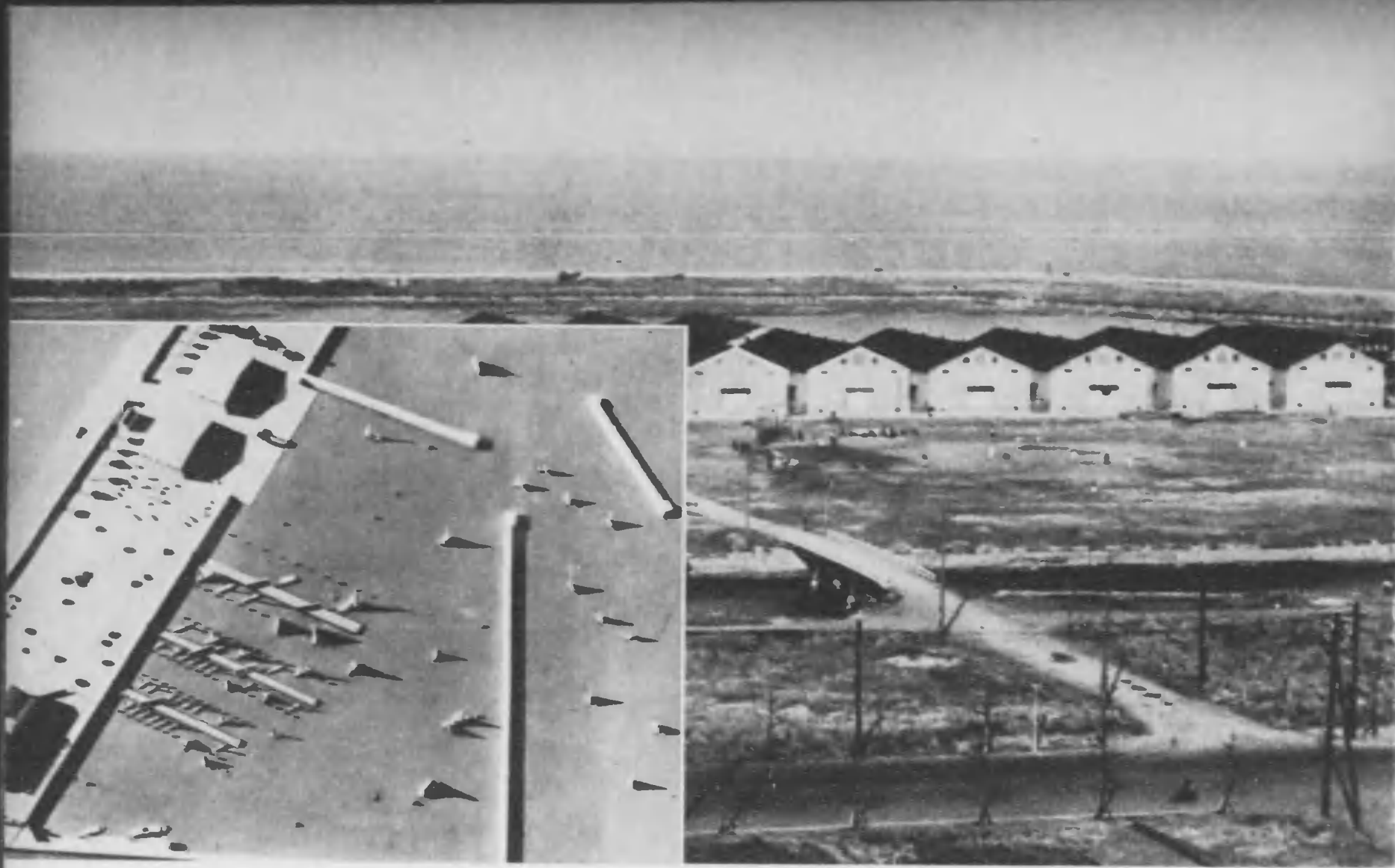
清新の気流する神宮外苑競技場



第十二回東京オリンピック大會はもう二年後に迫つてゐる！
わがオリンピック組織委員会では、この時こそ日本の國威を宣
揚しスポーツによる日本精神の發揚、國民地位向上の絶好機会と
して、關係者總動員全智能を集めて、今や來るべき大會への準備
は府々と進んでゐる。第十一回のベルリン・オリンピック大會
にも劣らぬものとすべく、眞摯な意氣込の下に。

現在の神宮外苑プールを使用しない場合はこの倍も
ある大プールスタンドを駒澤につくる計畫がある。

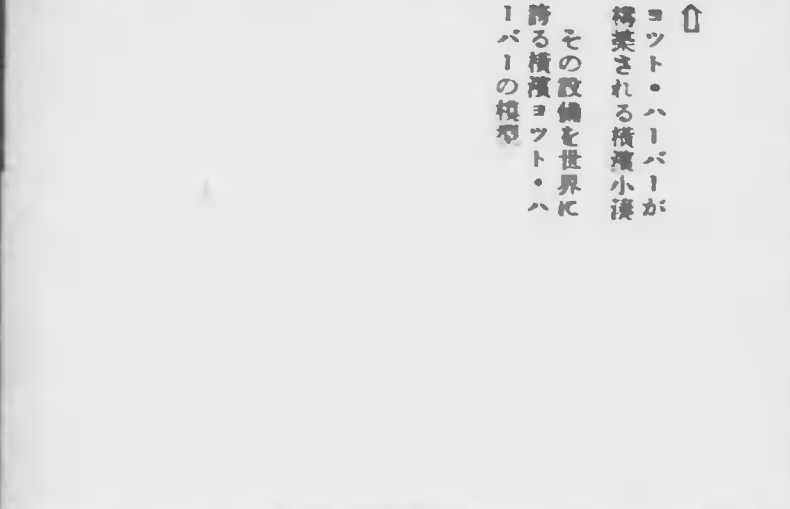
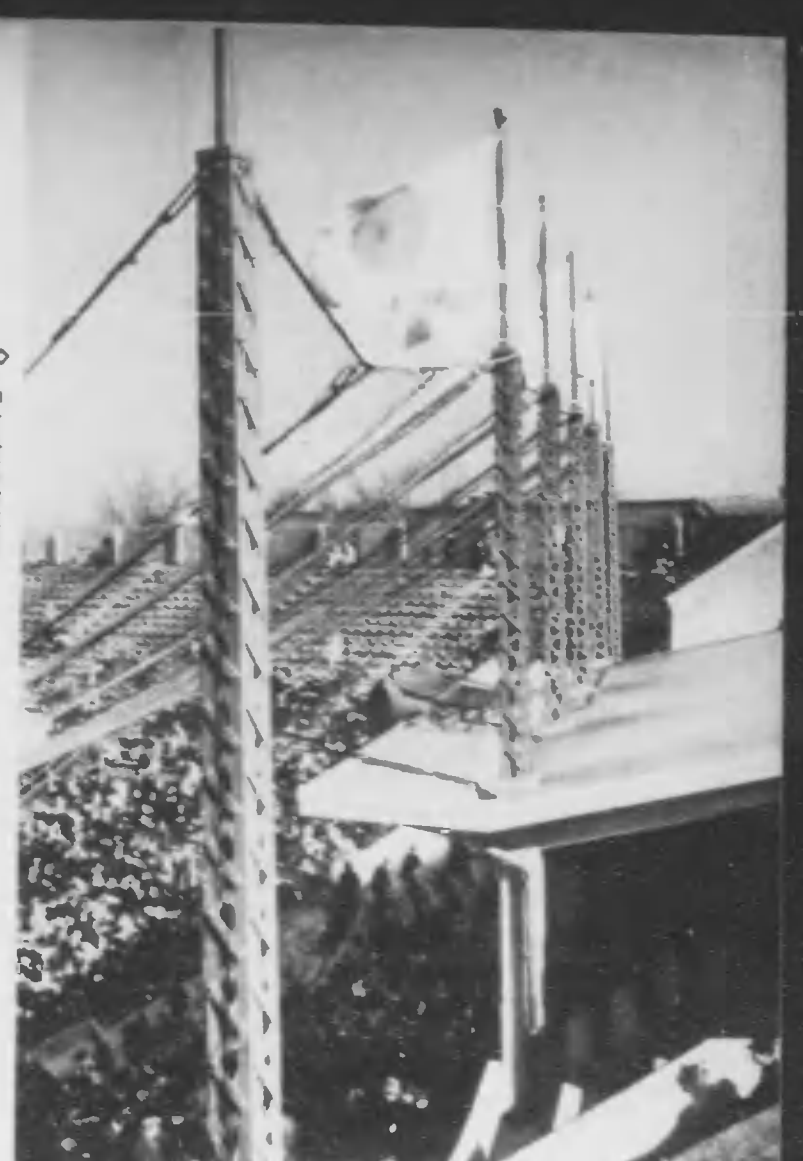




⇒ 新宿外野球場



北海道大会の大シャッター
現在世界最大のシャッターの
一つである。
カイロ会議ではスキー競技の
開催地は一應大会から切離され
たが、我が代表はあくまで札幌
を開催地として主張してゐる。



↑ ヨツツ・ハービーが
構築される横浜小漢
その設備を世界に
誇る横浜ヨツツ・ハ
ービーの模型



スポーツに關はせ
日本精神

第十二回オリンピック東京大会の諸競技場に就いては、組織委員会の意圖で、諸委員
會が設けられ、同委員會が計畫、準備が進
められてゐる。

主競技場
昨年の組織委員會では、明治神宮外野球場
を改修することに決定した。それによると
現在の走路を二線減らし、ダイヤモンドを走路
の外に一ツ造ることとし、又スタンドを擴張
して七萬五千人の觀客を收容せんとするの
であるが、經費と建築の技術的方面に就いて
は更に調査委員會の研究を要するものがある
ので、目下此の點を考究してゐる。神宮外野
球場が經費の點で、外野管理廳等と組織委員
會との間に隔たりのある所へ、一方には、將來
の體育場地上、競技場を増設するの必要
であるとの意見が出てゐる。これによると
神宮外野球場に、観客を收容するスタンド
を設けやうとするものである。何れにせよ
これに就いては近く組織委員會の研究を持つ
て、組織委員會が決定する筈である。

水泳場
神宮外野球場の一角に
五十メートルと二百八十メートルの二つの
水泳場を設け、經費は二百五十萬圓と
二百五十萬圓とを要する。

蹴球場
芝公園の蹴球場を改修し、こ
に蹴球場を設けんとするもので、收容人員
一萬五千名、その費用六十萬圓が計上された
。但し、蹴球場に主競技場を移す場合は現在の神
宮外野球場を蹴球場に充てられる。

ホッケー競技場
同上。

自衛隊軍用競技場
芝浦海岸地の一角に作
る。但し中央に四百米走路のある陸上競技場
を設け、周圍に五百米の自衛隊走路を造るの
であつて、六千名の見物席、助席八千五百名
を造る。その經費は六十五萬圓である。もし
主競技場が蹴球場に移る場合は自衛隊軍用
の陸上競技場を造らう。

滑道コース
埼玉縣戸田村に長さ二
千五百米、巾八十米のコースを設ける。
經費は八十萬圓。

射撃場
お茶の水公園に市民體育館を設
ける。收容人員八千名、建設、レミング、
ボウリング等を行ふ。工事費二百萬圓。

ヨツツ・ハービー
横浜小漢に造る。
經費四十萬圓。近く着工の予定。

オリンピック村
神宮外野球場のゴルフ・リンク
スに設ける。收容人員二千名、三十三名、經
費百五十萬圓。



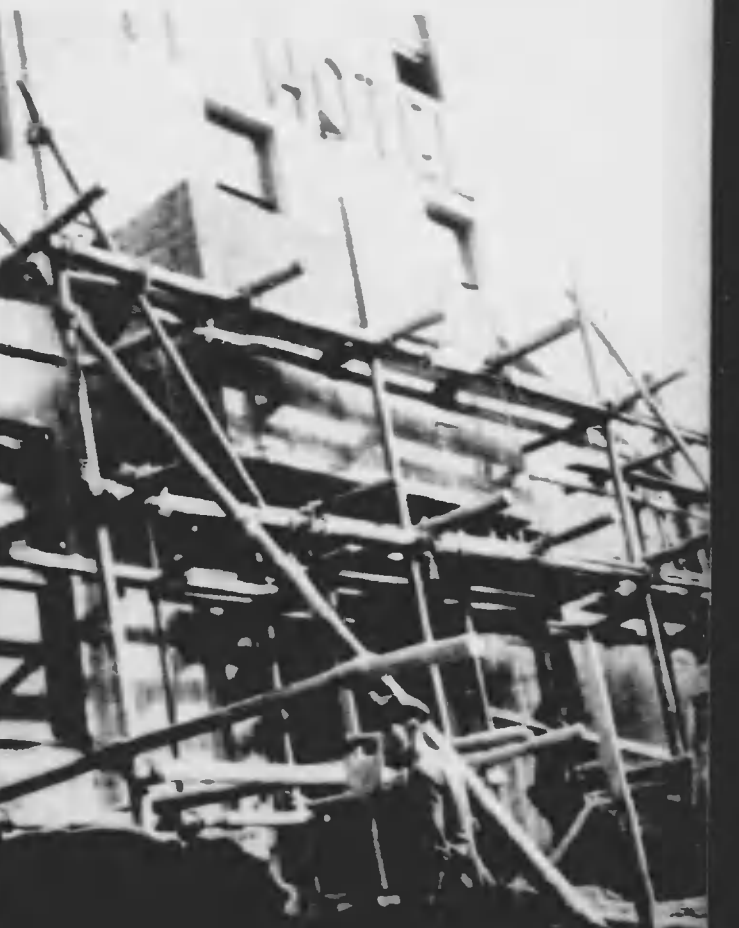
↑ オリンピック目かけ
て殺到するであらうお
客さんに、快よい旅を
させやうと鐵道省も各
車製作に大奮

⇒ 五輪のマークの記念品は、はや街に溢
れ大會を持ち運ぶと並んでゐる。

↑ 見物外人旅客との會
話に備へて、語學の勉
強も眞剣に始められて
ゐる。



⇒ ホテルもここかしこに新
築される、増築される。



隊身挺道鐵 江南に進む

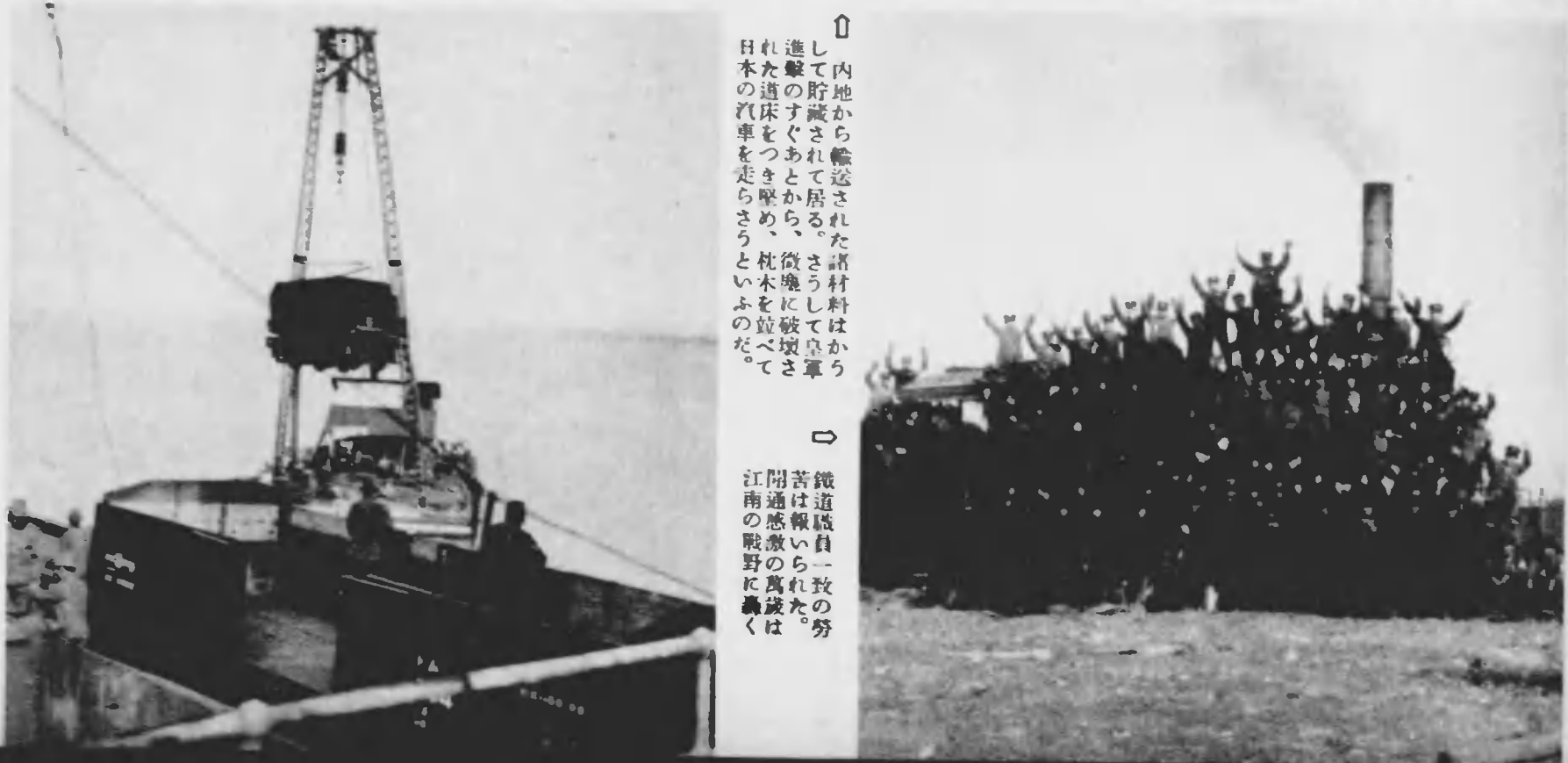
中支方面に出動した皇軍は、江南の三角洲一帯に膠着の膠着を続け、その神速果敢な攻勢に、敵軍が防備を誇る堅固な城壁も敢て陥落、北へ、西へ、南へと目覚ましい進軍を収めて世界の耳目を驚かせしめつゝ、一路南京攻めへと進軍を進めたのであつた。

かく皇軍の進軍と共に、大量の作戦資材を迅速に輸送する為鐵道輸送の必要を痛感した皇軍は、鐵道省に對して鐵道車貨車、線路材料及び之等車輛の組立、線路の復舊、並に鐵道省の職員を現地に派遣するやうに依頼され、先づ第一班の車輛組立員〇〇名は上海に向ひ、廢墟の吳淞工場に立て籠り、搬行した材料を採り付けて廢墟車輛の到着を待ち、内地鐵道工場で搬送されてきた廢墟車輛が御用船で入港すると共に、直ちに再開して之を組立て、十二月五日には復舊第一班目の皇軍機關車が江南大平原の一角に勇ましい汽笛を響かせて、吳淞、上海北停車場の間を走つたのである。

續いて第二班の各系統の職員〇〇名は十二月十日に、第三班は十二月十六日及び廿日に上海に向ひ、或は鐵道線路や橋梁の修繕に、或は地方もなく破壞された通信線の復舊系統に更に之に次で軍用列車の運轉に軍と一體になつて作戦行動に協力し、戰事未だ牧まらぬ江南の野に、合計〇〇名の鐵道省職員は鐵道による軍事輸送の完成を期して、皇軍の進軍に參加する感奮に燃えつゝ、日夜鐵道業務に従事してゐるのである。

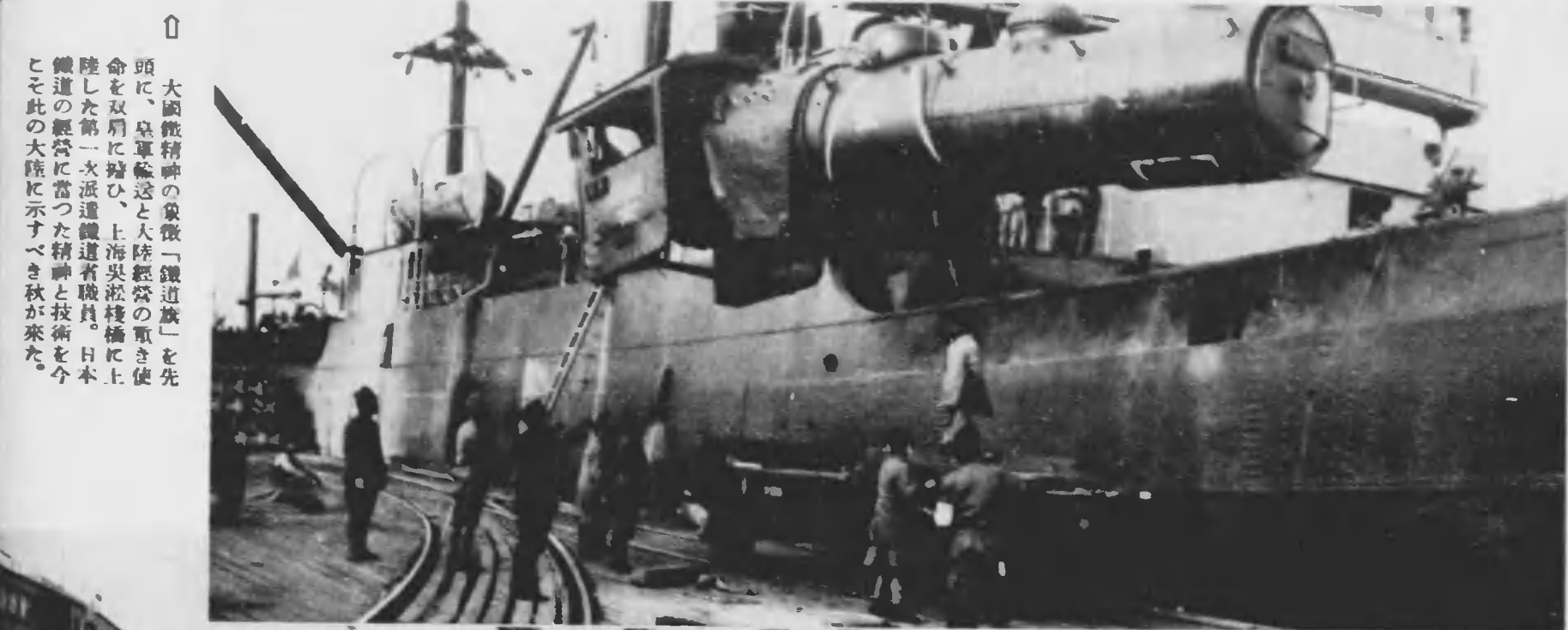
南京陥落して已に三ヶ月、江南の治安は若草の芽を出つる昨今朝色漸く響かに、復舊工事も進み、皇國の實業を解する新政府の樹立も時間の問題とまでなり、沿線各地の復興も亦一入活氣を呈して来た。現地の鐵道職員は此の事業に對し、皇軍に軍事輸送だけでなく一般旅客貨物の運送も行ふ事が最も望ましい事と考へ、今や〇〇名の鐵道省従業員は、皇國注目のうちに世界に誇るその専門の技術を示すべく、日夜困苦と戦ひながら活躍をいつけてゐる。皇軍の進軍が、鐵道の進軍に現地の鐵道省従業員の献身的な努力があることを忘れてはならない。

鐵道省



内地から輸送された諸材料はかうして貯蔵されて居る。さうして皇軍進軍のすぐあとから、微塵に破壊された道床をつき摩り、枕木を並べて日本の汽車を走らさうといふのだ。

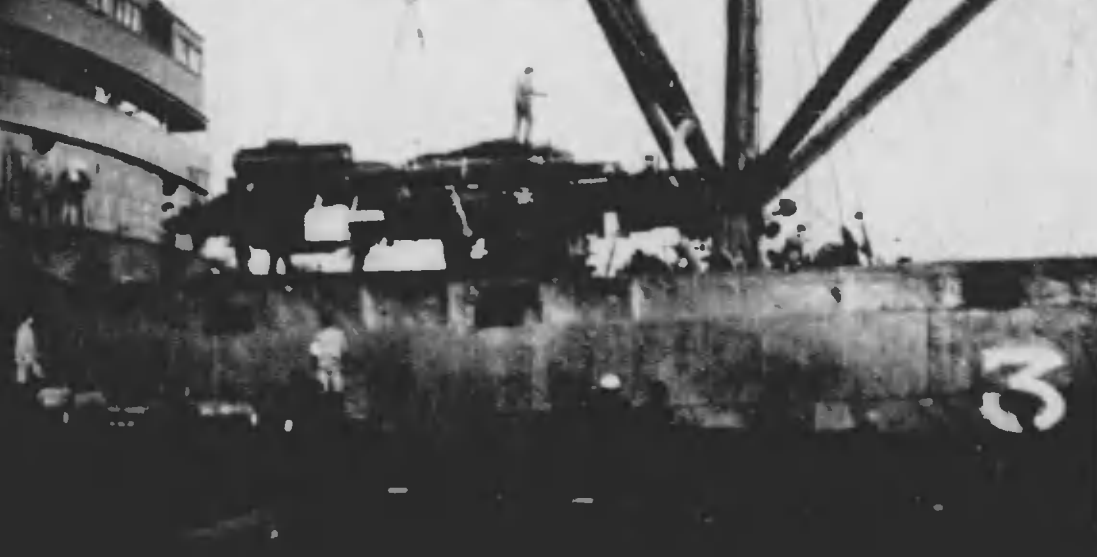
鐵道職員一致の勞苦は報いられた。開通感激の萬歳は江南の戦野に轟く。



大國鐵精神の象徴「鐵道族」を先頭に、皇軍輸送と大陸經營の重き使命を双肩に擔ひ、上海吳淞橋に上陸した第一派鐵道省職員、日本鐵道の經營に當つた精神と技術を今こそ此の大陸に示すべき秋が來た。

機關車の檢揚げ
美しい日本の山野を疾駆してゐた陸の王者機關車はこのやうに解體されて運ばれて來た。皇軍の輸送を果すべく、又やがて新天地産業開發の先驅たるべく。

上 炭水車
右 煤車
左 森林の陸揚げ

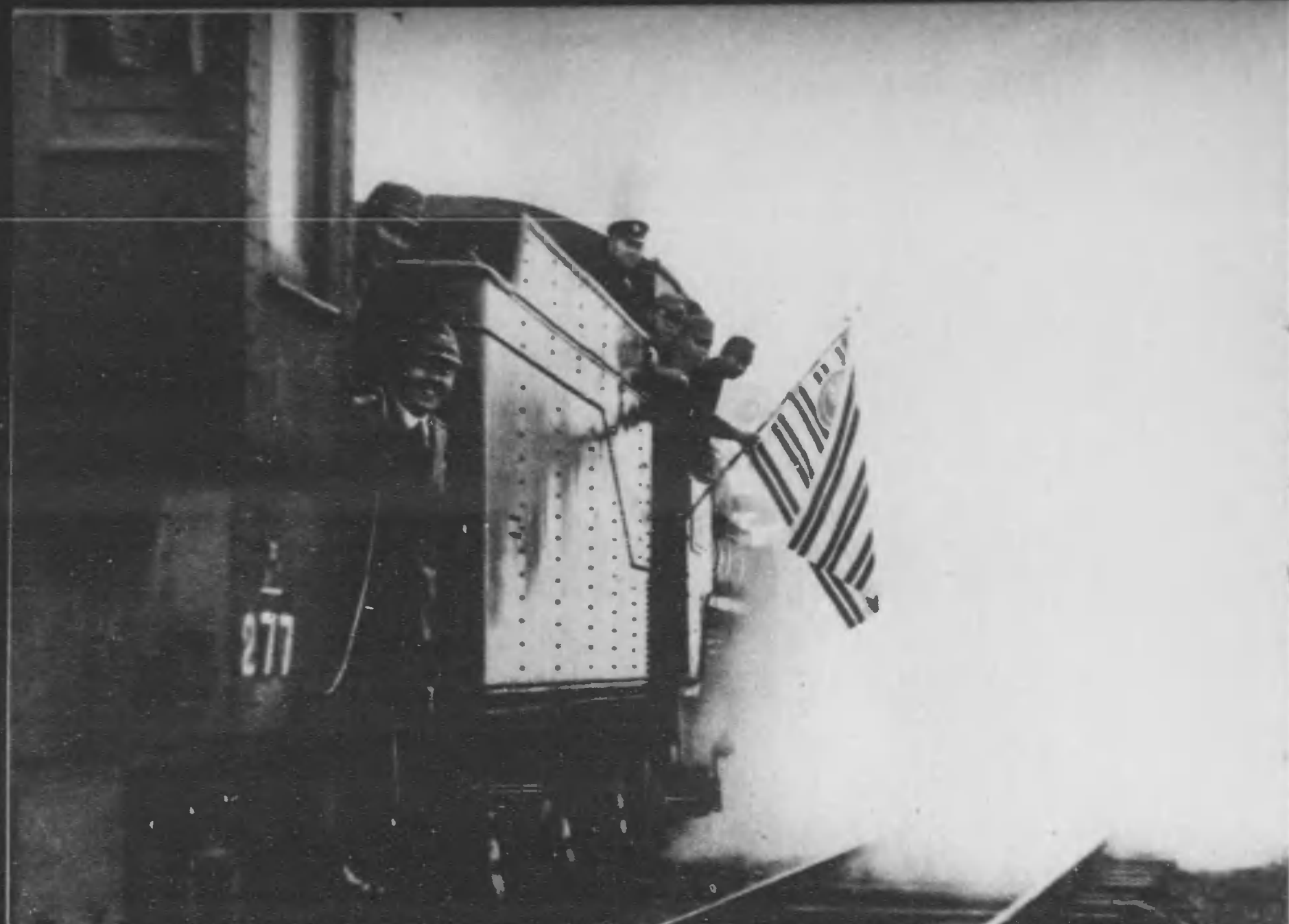




占據地域内でも
種々障礙が出渡す
る。殊に敵地真近
に進む時には、裝
甲車を機関車の前
に連結して敵の襲
撃に備へることが
必要だ。上は點火
される装甲車

颯爽と江南の春
風を切つて疾走す
るガソリン・カー

我等の機関車は
すつかり組立を了
つた。やがて點火
され、いよ／＼江
南の戦野に暴軍を
のせて勇ましくも
疾驅しやうとする
のだ。



上海南京間を最
初に走る列車、大
陸に繋へる鐵道放
東洋平和の大道は
先づ二本の軌條か
ら

昭和十二年十二
月五日、一九六七
九號機關車は鐵道
職員の溢るゝ感激
をのせ、我が最初
の機關車として上
海北停車場に到着
した。





渡河軍勢
午がての敵前渡河に備へて
隊の一隊は悉々と進む
西紅な夕陽を一杯に浴びながら



調教
 兜を曳き、荷車を曳いて
 みた馬も調教場に出ては風
 を切つて馳る。やがて我が
 勇士を乗せて勇ましく戦野
 を疾駆することだらう。

乗馬章
 軍用馬として立派に役立つ馬の資格を証
 明し、その所有者の名譽を表彰するため
 所定の検査に合格したものは馬政局から
 乗馬章が交付される。乗馬章には甲乙の二
 種があり、甲は金色で個人所有の馬に、乙
 は銀色で團體所有の馬に授與される。



乗馬思想の普及
 はまづ婦人子供か
 らと言ひたい。外
 國の婦人に比べて
 遙かに劣つてゐる
 我が國婦人の體位
 を向上させるため
 にも、未來の勇士
 の訓練のためにも
 乗馬は一番愉快で
 効果がある。今で
 は政府の奨励によ
 つて安價に氣配に
 馬に乗れる所が方
 々に出来てゐる。

お百姓も、運送
 の馬に勝つて調教
 場に乗つて来た。
 鐵道指導員の指導
 に従つてこれから
 みつちり調教を行
 ひ、自分の馬を立
 派な軍用馬に仕上
 げて、皇國のお役
 に立て、やうといふ
 のだ。

緊要速歩競走
 競馬の改良増殖
 をはかり、中間種
 の馬を獎勵する目
 的での競走が行
 はれてゐる。
 その昔、ギリシ
 ヤ、ローマで行は
 れた戦車競走の面
 影も憶はれ、又北
 支、中支の戦野に
 馳駆する戦馬の姿
 を競馬場裡に時々
 たらしめる勇まし
 いレースである。



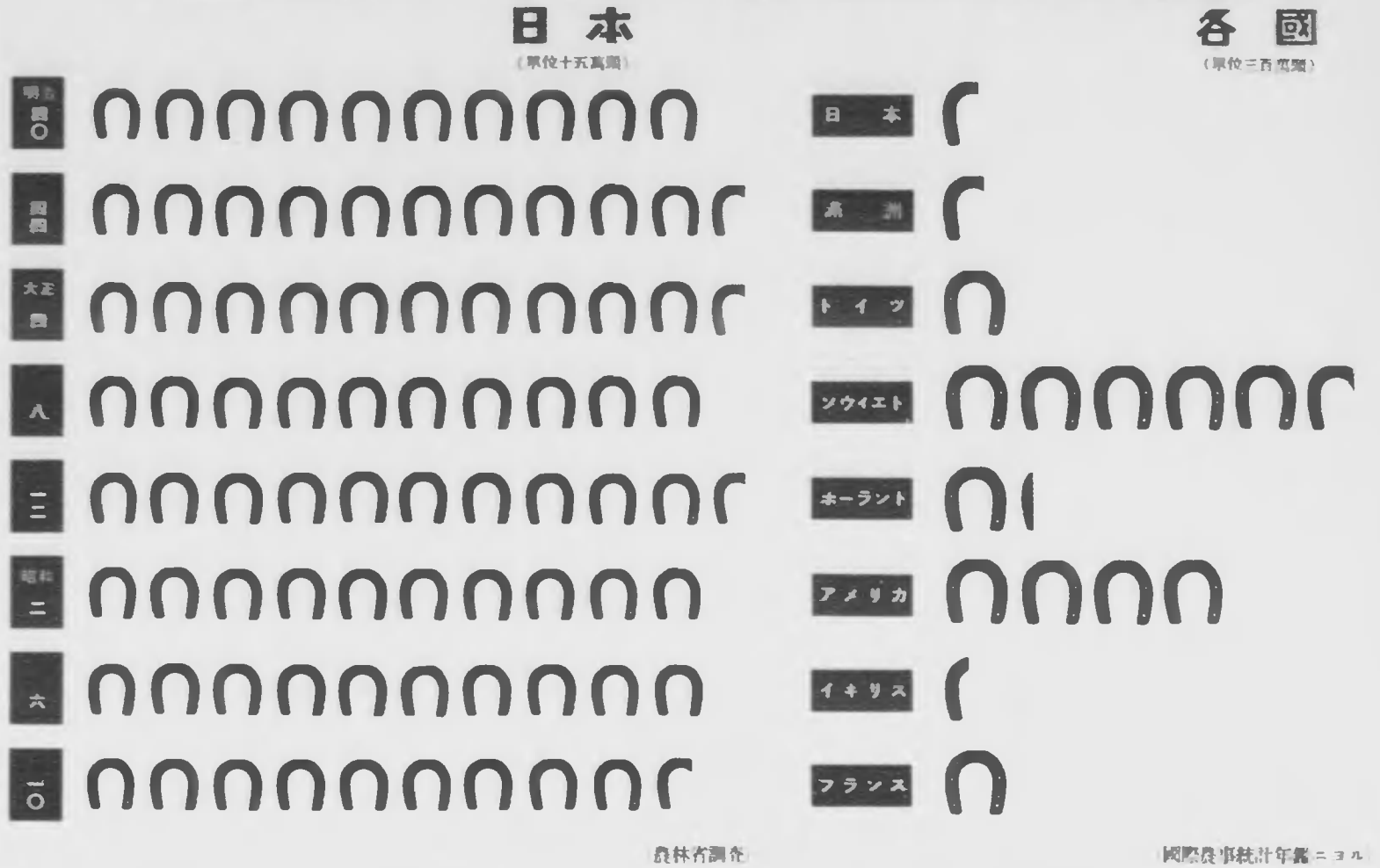
⇒ 神奈川縣足柄下郡軍用候
 捕馬鐵場にて、調教場り
 見る馬政局の係官



農會記念日 — 四月十一日 — 農林省

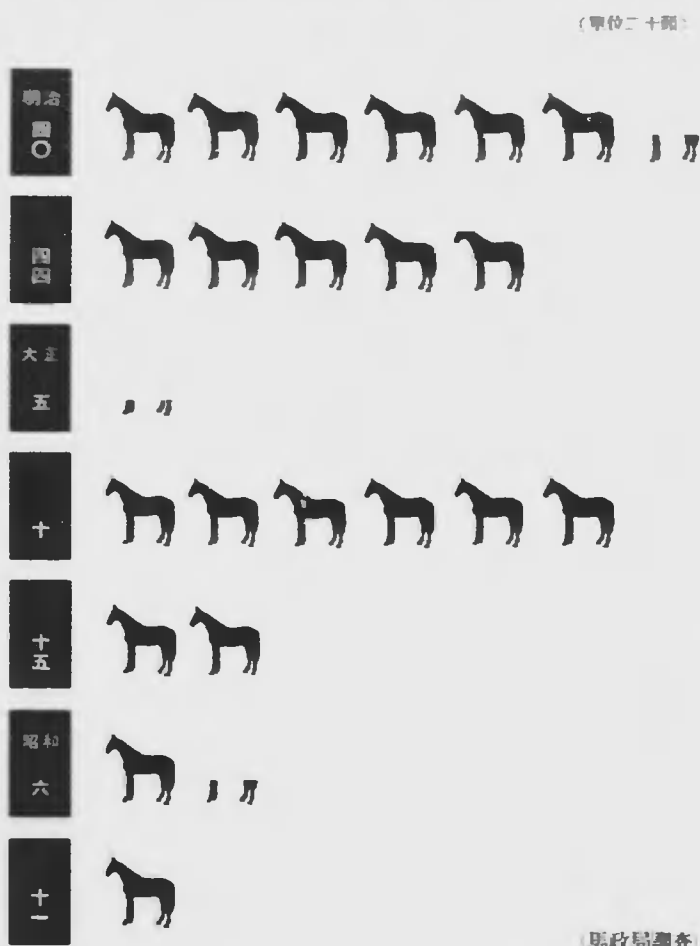
宮城縣の白菜が仙臺白菜と銘打つて華々しく中央市場に登場してから早や十幾年「四千車出荷」の實績は堂々つねに我が國出荷蔬菜の王座を占めてゐる。
 縣農會及び縣農事試験場では今後いよ／＼仙臺白菜の名を高からしめやうと、その品質改良の指導に懸命の努力を拂つてゐる。

日本及世界各國總馬數



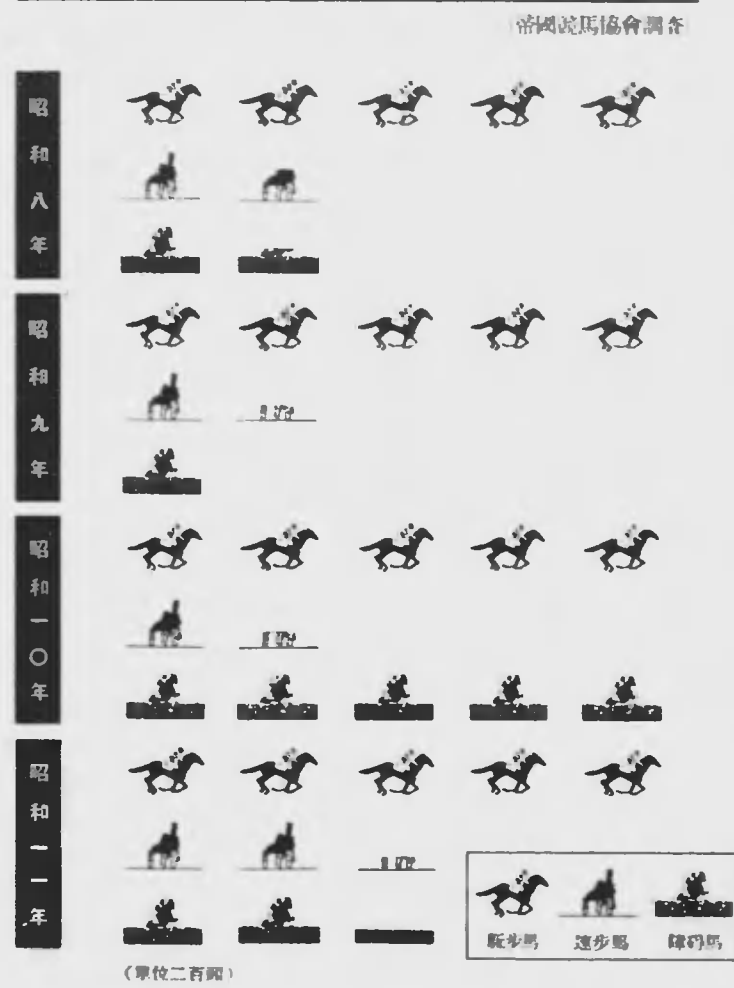
農林省調査 國際農事統計年鑑ニヨル

輸入種馬累年比較



馬政局調査

公認競馬出走馬累年比較



(單位二百頭)



海抜三千尺、群馬縣高井村二十二平方里の高原は、廣さに於ては僅に二部以上の面積を占めながら、十数年前までは寥々たる山村であつたが、縣農會の適地適作の指導奨励によつて、高原地帯の特殊の氣候を利用して所謂「高原野菜」を栽培し、八月、漬物野菜の最も欠乏する穴を埋つて大都會にどしどし送り出されるやうになり、かつての山村も今は一種富裕な村として現れるに至つた。
現在では普通作の他に、高原甘藍十八萬貫白菜六十萬貫を出し、更に農林省の斡旋で長野縣と協力、種子用馬鈴薯五十萬貫の運出出荷を行つてゐる。



農林省では今度事變による農村生産力の減退を防ぐために、不足を告げる努力を共同の力で補つて行かうといふ目的で、農業共同作業の奨励を各地方農會を通じて行つてゐる。上は茨城縣結城郡名崎村での養蠶共同作業

又同省では一方應召農家の努力不足を補ふために、全國農村に勤勞奉仕團の設置をすゝめて應召農家の生活安定を期してゐるが、徳島縣農會はこの主旨に基き全國に率先この指導に乗り出した

神奈川縣高井郡は現在全國でも有数の養蠶地である。同郡では一軒で三十頭の蠶を飼養してゐる農家も少なくなく、肥料も税金も養蠶の収入で賄ふといふ有様である。
この地方も昭和五年の農業恐慌に養蠶を副業としていた農家は悲惨のどん底に陥つたが同郡農會の指導の下に「蠶による有奇農業」を旗印に更生の意氣目覺ましく立ち上り、まづ政府の低利資金を數千圓借入れ、種牡蠶の直輸入を行つて、従来の優良種に更に改良を加へた結果、同地方生産の蠶は今では優良系統の種蠶産地として、内地は勿論、遠く植民地にまで送られて

四月十一日は農會記念日である。
農會が法律で定められたのは、明治三十二年であるが當時の農會法は極めて簡單で、至多六ヶ條から成り必要な事項は凡て之を命令令等によつて規定されることとなつてゐたのである。其の後の事情の變遷に伴つて農會法の改良を要するといふ大使命を遂行せしめるにはどうして、法律の不備を補つて實に實するの必要を生じ、遂に第四十五條に政府農田の農會法が成立し、大正十一年四月十一日認可を得、翌日法律第四十號を以て公布され、大正十二年一月一日から施行するに至つたのである。其の後の二回に亘り多少の改正が行はれたが、大正十一年農會法の制定にまつた日を農會記念日として、全國の農會は夫々祝賀會を開き、この日を記念する事となつた。農會は昔は農村の中最も古い歴史をもつ、系統的に全國普遍的に設立されてをり、全國農業者を凌ぐなく實としてゐる最大の團體である。現在には政府農會一、郡農會四十七、市農會五百五十二、市農會百二十二、町農會一、萬一千一百一十一があり、市町村農會の總数は實に八百四十餘萬の多數に上つてゐる。

農會は農家の自治團體で、一國生産、經濟社會生活等全的に農村の指導に當り、農産物の利益を代表する團體である。農會は此の二つの職務を備へて既に數十年、農家に對した足跡は顯著であり、其の功績は莫大なるものである。
農會は農家の利益と共に兵士の利益、牛馬の利益等に當り、努力を怠らざる農家に在つて、農會は其の努力を補ふために、農業生産力の維持増進に努力してゐる。農會は農家の生活安定に對しては、農會に對しては從來も農會は其の使命を果しつゝあつたが、今後は更に其の使命が期待されることとなつた。
戦時の農會記念日に當つて、農會は益々其の責任を自覺し、其の使命の遂行、農會の發展にその活動が望まれる。



酒の兵庫はまた米の兵庫である。灘の銘酒が天下にその名を馳せしてゐるのも優秀な醸造技術と良質の水に加ふるに、縣下から優良な酒米を豊富に供給するからである。縣官民は協力して年々酒米の改良に努めてゐるが、醸造期に入れば縣農會の指導によつて醸造家と農家との間に納入酒米の價格、數量が決められ、縣下各郡は酒米の山を築く盛況を呈する。

愛知縣の養蠶業は日本一である。蠶の總數約五千九百萬羽、年約五億四千五百萬圓、金額にして一千六百萬圓に上る期を産む。



KBK

鐘紡絹石鹸

肌の絹で皴石絹

た來出らか新
皴石絹紡鐘

三個入 { .50
1.60
6.00

鐘紡株式会社メビウ紡鐘 町田市市戸神・元賣發

毎水曜日發行

見本希望の方は内閣印刷局宛申出下さい

編輯部情報閣内

週報

トッレフンバの策國
常民國

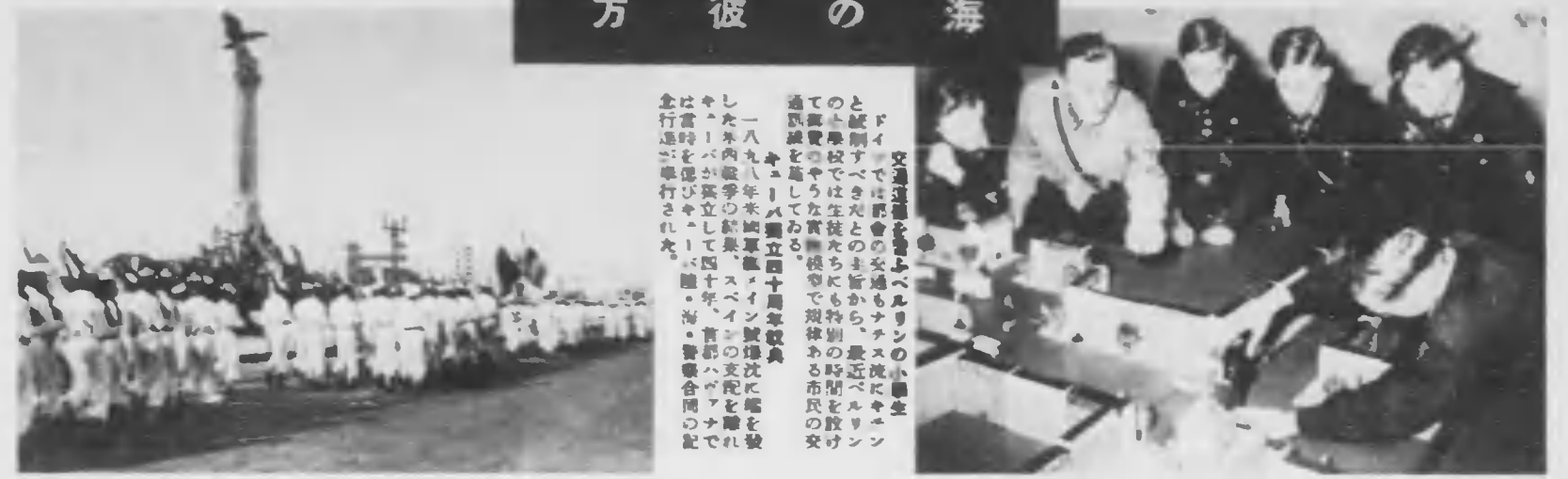
内閣印刷局發行

所 込 申
内閣印刷局發行課
電話東京一六〇〇〇
全国各地官報販賣所
東京書籍株式會社
最寄書店・驛賣店
各地新聞販賣店
寫真材料店

定價
一年(前金) 四圓八十錢
半年(前金) 二圓四十錢
一月(前金) 三圓八十錢

昭和十三年四月六日印刷發行

方 彼 の 海



空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。ベルリンの街並みは、ドイツの文化と、空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。ベルリンの街並みは、ドイツの文化と、空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。



空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。ベルリンの街並みは、ドイツの文化と、空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。



空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。ベルリンの街並みは、ドイツの文化と、空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。

空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。ベルリンの街並みは、ドイツの文化と、空想と現実の交差点に、ベルリンの街並みと、ドイツの文化とが交錯する。

所 込 申	價 定	昭和十三年四月六日印刷發行
内閣印刷局發行課	一年(前金) 四圓八十錢	寫真週報(兼週報)
全国各地官報販賣所	半年(前金) 二圓四十錢	內閣情報部
東京書籍株式會社	一月(前金) 三圓八十錢	東京市印刷局
最寄書店・驛賣店		大日本印刷株式會社
各地新聞販賣店		東京市印刷局
寫真材料店		東京市印刷局

富國徴兵



子供の保険は

出世保険
徴兵保険

本社 東京 日比谷
社長 榎津 一郎

富國徴報

昭和十三年一月十二日 第三種郵便物認可 昭和十三年四月六日發行 毎週一圓水曜日出行 第八號

(本書の大きさは縮尺規格A4・二週報二倍)